



2024年4月1日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 袴 田 武 史  
(コード番号：9348 東証グロス市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 野 崎 順 平  
(TEL. 03-6277-6451)

## チャールズ・スターク・ドレイパー研究所との 着陸誘導制御システム開発契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日付けで取締役会にて、当社米国法人である ispace technologies U.S., inc. (以下「ispace U.S.」という。)とチャールズ・スターク・ドレイパー研究所 (以下「ドレイパー研究所」という。)との間で、ispace U.S. のミッション3 で使用する APEX1.0 ランダーに搭載される着陸誘導制御システムの開発をドレイパー研究所へ委託する契約 (以下「開発契約」という。)を締結することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 着陸誘導制御システム開発契約の概要

当社グループは、ランダー及びローバーの開発、ランダー又はローバーへのペイロード (荷物) 搭載、打上ロケットから切り離された後の月までの航行と着陸、月面の探査活動を主な活動としております。ランダー開発の中でも、技術的難易度の高い着陸誘導制御システムに関しては、アポロ計画で6回の月着陸に成功した実績を持つドレイパー研究所へ、2018年から当社のミッション1及びミッション2で使用又は使用予定の RESILIENCE ランダーを対象に開発を委託しておりました。そして、今般、ミッション3で使用する APEX 1.0 ランダーの着陸誘導制御システムにおいても、引き続きドレイパー研究所へ開発を委託することとなり、2024年4月1日付で当該ランダー開発を進める ispace U.S. とドレイパー研究所との間で開発契約を締結することを決議いたしました。

なお、先般お伝えの通りミッション3のペイロードとして、ispace U.S. は、アメリカ航空宇宙局 (以下「NASA」という。)の「商業月面輸送サービス (Commercial Lunar Payload Services) プログラム」の下、NASAとの契約主体であるドレイパー研究所を中心とするチームの一員として、タスクオーダー・CP-12を受注しており、2023年1月にドレイパー研究所とその契約を締結しております。ドレイパー研究所の協力のもと、当社は2026年に打上げ予定 (2024年4月1日現在) のミッション3においても、より着実なミッションの成功を目指しております。

2. 着陸誘導制御システム開発契約締結先企業

(1) 社名	チャールズ・スターク・ドレイパー研究所	
(2) 所在地	アメリカ マサチューセッツ州 ケンブリッジ	
(3) 代表者の役職・氏名	研究所長及び最高経営責任者 Jerry Wohletz	
(4) 事業内容	防衛・宇宙製品製造業	
(5) 設立年	1973年	
(6) 上場会社と当該者との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	ミッション1、2及び3を対象とする着陸誘導制御ソフトウェア開発契約
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

※ドレイパー研究所は非営利研究開発組織であるため、資本金、大株主及び持株比率は開示していません。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年4月1日
(2) 開発契約締結日	2024年4月1日（予定）

4. 業績への影響について

本件の契約金額については、ドレイパー研究所との守秘義務に基づき非開示となりますが、契約金の支払いは、当社の手元資金から行う予定です。本件が当社の2024年3月期の連結業績に与える影響は無いものと考えます。また、2025年3月期の連結業績への影響は現在精査中であり、開示すべき事項等が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上